『環（わ）』の公共事業構想ガイドライン評価シート

作成年月日	平成20年12月8日
作 成 部 署	建設交通部　河川課

事　業　名	赤田川　総合流域防災事業	地 区 名	木津川市加茂町大野～ 木津川市加茂町高田
概算事業費	30億円	事業期間	昭和45年度～平成50年度
事 業 概 要	過去から浸水被害がたびたび発生しており、上流域に大規模開発団地を抱えているため、近年頻繁に発生している集中豪雨等により、下流域で浸水被害をもたらす恐れが極めて高いことから、河道拡幅による改修を行うものである。（Ｌ＝2,800m）		
目指すべき環境像	流域が持つ景観、自然環境を保全し、地域の特徴を活かした良好な河川環境の整備を図る。		
関連する公共事業	直轄河川改修事業（木津川）		

評価項目	主要な評価の視点	選定要否	施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
地球環境・自然環境	地球温暖化（CO_2排出量等）	－	河床にはヨシなどが生い茂り、生物調査ではコサギやカワセミなどの鳥類やカワムツやヨシノボリなどの魚類の生息が確認されている。改修にあたっては、動植物の生息環境の保全に努める。	改修後も動植物の生息・生育の場としての良好な自然環境を保全できるよう、今後の改修においては河床の淵や瀬の復元や落差工における魚道の設置等、現状の自然環境を保全し、生態系に与える影響を抑えるよう配慮した整備を行う。	－
	地形・地質	○			３
	物質循環（土砂移動）	○			３
	野生生物・絶滅危惧種	－			－
	生態系	○			４
	その他	－			－
生活環境	ユニバーサルデザイン	－	赤田川は、下流部では集落を貫流しており、改修工事の実施にあたっては地域の生活環境の保全に努める。	低騒音・低震動型の施工機械の採用や建設発生土の有効利用による土砂運搬の縮減等により、工事中の騒音、震動、粉塵等の発生に十分留意する。また、河川改修により発生する掘削土を築堤に利用するなど、建設発生土の処分に伴う排気ガスの排出を極力削減するとともに、その他の建設廃棄物についても縮減に努める。	－
	水環境・水循環	－			－
	大気環境	－			－
	土壌・地盤環境	－			－
	騒音・振動	○			３
	廃棄物・リサイクル	○			３
	化学物質・粉じん等	－			－
	電磁波・電波・日照	－			－
	その他（安全）	○			４
地域個性・文化環境	景観	○	赤田川の沿川には田畑が広がり、田園地帯の風景を残しているため、地域の景観の保全に十分配慮するとともに、環境学習の場や住民との協働の場としての利用に配慮した川づくりを進める。	ホタルの生育調査や魚類調査などの環境学習の場として利用できるよう、水際へのアプローチ等を整備し、川に親しめる空間を確保する。また、これらの空間の維持管理においては、地域住民との協働により、良好な維持管理を行う。	４
	里山の保全	－			－
	地域の文化資産	－			－
	伝統的行祭事	－			－
	地域住民との協働	○			４
	その他	－			－